

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	小笠 恵美子
主な担当科目	日本語文法とコミュニケーション[Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ], 日本語文法とコミュニケーション研究[Ⅰ・Ⅱ], 中級日本語[Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ], 日本語と日本社会[Ⅰ・Ⅱ], 日本語と日本社会研究[Ⅰ・Ⅱ], 実用日本語[Ⅰ・Ⅱ], 実用日本語研究Ⅱ, 日本語日本文化[Ⅰ・Ⅲ], 日本語日本文化研究Ⅰ, 上級日本語Ⅱ, キャリアと日本語, 中級日本語演習, 実践中級日本語, 実践中級日本語研究[Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ], 実践上級日本語研究[Ⅱ・Ⅲ]
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	ハイブリッド型授業を、著作権に配慮した教材を使って滞りなく行う。オンラインの学生も教室の学生と同じように授業に参加している実感が得られるように声をかけながら授業を行う。
2022年の教育に関する自己評価	前期はオンラインと教室のハイブリッド型の授業をしながら、異なる時期に来日する学生ができるだけスムーズに学校生活になじめるように配慮した。後期はほとんどの学生が来日し、対面の授業ができたため、対面の学生の理解に応じて学習速度を上げて、より密度の濃い内容になるように心掛けた。また、秋入学の学生の入国が10月後半までずれ込んだため、彼らが早く授業に溶け込めるよう配慮した。 特に日本語の力が不足している学生への個別補修を定期的に行った。 日本語能力試験受験を予定している学生への定期的な補修、受験に際して必要な学修アドバイスの面談を行った。 基礎ゼミ、芸術特別研究といった必修科目について、個別に授業日、場所などを教えるサポートを行い、言語のハンデによる情報の見落としが生じないように配慮した。 芸術特別研究の留学生のための説明会開催に際して、上級生に声をかけ、通訳サポートを依頼した。 特に日本語の力が不足している学生への個別補修、基礎ゼミ、芸術特別演習といった必修科目への個別のサポートを行い、特に前期は対面の学生とオンラインの学生の差が出ないように、教材はできる限りインターネット上に公開されているものを使い、教室内の学生と同様に声をかけながら行ったため達成度を5とした。
2022年のFD活動に関する自己評価	留学生にも多様な背景を持つ学生がいることに配慮できるように積極的に取り組んだ。実際に、それぞれの状況に応じた対応ができるように、個別に声をかけたり連絡を取るべく努力したりした。
授業改善のために取り入れた研修内容	・多様な学生に対処できるように、他大学の学生の心のケアを専門とする研修会に参加した。 ・「キャリアと日本語」の内容向上のために、就労者のための日本語教育に関する研究会に参加している。就労場面に合わせた日本語のcan-doリストの作成を試みた。 ・他校での国外の留学生への対応、ハイフレックス授業の状況を情報収集した。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅠ

曜日時限
火 1時限

担当教員
小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。
概要：平易な文法の確認をしながら自分自身のことについて説明する日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

外国人と話すことに慣れていない人とでも日常的な短い会話をスムーズにすることができるようになる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 自分について話す(テキスト トピック1)
第2回	興味を持っていることについて話す、質問する(テキスト トピック1)
第3回	お勧めの料理について話す、レストランなどの店の情報を聞いて、値段や料理の種類がわかる(テキスト トピック2)
第4回	故郷の特徴的な料理について説明する(テキスト トピック2) ・小テスト
第5回	音楽のジャンル、特徴について、聞いたり話したりする(テキスト トピック3)
第6回	好きな音楽について、その魅力や好きになった経緯を話したり、聞いたりする(テキスト トピック3)
第7回	コンサートについて書かれた文章を読む(テキスト トピック3)
第8回	お勧めのコンサート情報、音楽サイトを伝える(テキスト トピック3) 旅行地の案内を聞き、その特徴を理解する(テキスト トピック4) ・小テスト
第9回	旅行先での会話(希望を伝える)(テキスト トピック4)
第10回	旅行の経験について話す、質問する(テキスト トピック4)
第11回	近況報告(短い文章で書く)(テキスト トピック5)
第12回	近況報告(会話) (テキスト トピック5) ・小テスト
第13回	漫画について話す(テキスト トピック6)
第14回	ストーリーを説明する(テキスト トピック6)
第15回	便利な道具について説明する(テキスト トピック7)
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）
Teamsによる課題の提出、フィードバックがあります。基本的に、wordファイルによる課題の提出が必要です。できない場合は相談してください。

教科書・参考書

『まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1』独立行政法人国際交流基金編著 三修社
テキストを買って授業に参加してください。
日本国外でも買うことができます（<https://www.marugoto.org/about/oversea/>）。
電子書籍版はAmazon.co.jpかGoogle Play ブックスから買うことができます(https://www.marugoto.org/faq/#anc_q12)。

科目名ークラス名

日本語文法とコミュニケーションⅠ	前期
------------------	----

曜日時限	担当教員
火 1時限	小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。
概要：平易な文法の確認をしながら自分自身のことについて説明する日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

外国人と話すことに慣れていない人とでも日常的な短い会話をスムーズにすることができるようになる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 自分について話す(テキスト トピック1)
第2回	興味を持っていることについて話す、質問する(テキスト トピック1)
第3回	お勧めの料理について話す、レストランなどの店の情報を聞いて、値段や料理の種類がわかる(テキスト トピック2)
第4回	故郷の特徴的な料理について説明する(テキスト トピック2) ・小テスト
第5回	音楽のジャンル、特徴について、聞いたり話したりする(テキスト トピック3)
第6回	好きな音楽について、その魅力や好きになった経緯を話したり、聞いたりする(テキスト トピック3)
第7回	コンサートについて書かれた文章を読む(テキスト トピック3)
第8回	お勧めのコンサート情報、音楽サイトを伝える(テキスト トピック3) 旅行地の案内を聞き、その特徴を理解する(テキスト トピック4) ・小テスト
第9回	旅行先での会話(希望を伝える)(テキスト トピック4)
第10回	旅行の経験について話す、質問する(テキスト トピック4)
第11回	近況報告(短い文章で書く)(テキスト トピック5)
第12回	近況報告(会話) (テキスト トピック5) ・小テスト
第13回	漫画について話す(テキスト トピック6)
第14回	ストーリーを説明する(テキスト トピック6)
第15回	便利な道具について説明する(テキスト トピック7)
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）
Teamsによる課題の提出、フィードバックがあります。基本的に、wordファイルによる課題の提出が必要です。できない場合は相談してください。

教科書・参考書

『まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1』独立行政法人国際交流基金編著 三修社
テキストを買って授業に参加してください。
日本国外でも買うことができます（<https://www.marugoto.org/about/oversea/>）。
電子書籍版はAmazon.co.jpかGoogle Play ブックスから買うことができます(https://www.marugoto.org/faq/#anc_q12)。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅠ

前期

曜日時限

火 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。

概要：平易な文法の確認をしながら自分自身のことについて説明する日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

外国人と話すことに慣れていない人とでも日常的な短い会話をスムーズにすることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

自分について話す(テキスト トピック1)

第2回 興味を持っていることについて話す、質問する(テキスト トピック1)

第3回 お勧めの料理について話す、レストランなどの店の情報を聞いて、値段や料理の種類がわかる(テキスト トピック2)

第4回 故郷の特徴的な料理について説明する(テキスト トピック2)

・小テスト

第5回 音楽のジャンル、特徴について、聞いたり話したりする(テキスト トピック3)

第6回 好きな音楽について、その魅力や好きになった経緯を話したり、聞いたりする(テキスト トピック3)

第7回 コンサートについて書かれた文章を読む(テキスト トピック3)

第8回 お勧めのコンサート情報、音楽サイトを伝える(テキスト トピック3)

旅行地の案内を聞き、その特徴を理解する(テキスト トピック4)

・小テスト

第9回 旅行先での会話(希望を伝える)(テキスト トピック4)

第10回 旅行の経験について話す、質問する(テキスト トピック4)

第11回 近況報告(短い文章で書く)(テキスト トピック5)

第12回 近況報告(会話) (テキスト トピック5)

・小テスト

第13回 漫画について話す(テキスト トピック6)

第14回 ストーリーを説明する(テキスト トピック6)

第15回 便利な道具について説明する(テキスト トピック7)

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）
Teamsによる課題の提出、フィードバックがあります。基本的に、wordファイルによる課題の提出が必要です。できない場合は相談してください。

教科書・参考書

『まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1』独立行政法人国際交流基金編著 三修社
テキストを買って授業に参加してください。
日本国外でも買うことができます（<https://www.marugoto.org/about/oversea/>）。
電子書籍版はAmazon.co.jpかGoogle Play ブックスから買うことができます(https://www.marugoto.org/faq/#anc_q12)。

科目名ークラス名

日本語文法とコミュニケーションⅡ

曜日時限

火 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	0

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	50	50	0	0	0	100

教育到達目標と概要

目標：身近な話題について、必要な情報を聞き取ったり、相手の話の主要点が理解できる。

相手とのやり取りで、まとまりのある話ができる。

インターネットのブログや情報記事など、ふりがなのない文章を読んで、主要点が理解できる。

SNSやメールなど、日常的な場面で、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をしながら、場面に応じて聞く・話す・読む・書くの4技能を用いた日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。仕事・娯楽・学校などの普段出会う場面で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

【トピック2：旅行】トピックの準備、聞く：旅行の経験談を聞く

第2回 【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する

第3回 【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む、書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く

第4回 【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備、聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く

第5回 【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する

第6回 【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む、書く：自分が関わるイベントのチラシを作る

第7回 【トピック5：身近なニュース】トピックの準備、聞く：身近なテーマのニュースを聞く

第8回 【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する

第9回 【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む、ふりかえり

第10回 【トピック7：お気に入りの映画】トピックの準備、聞く：映画についての感想やコメントを聞く

第11回 【トピック7：お気に入りの映画】話す：見た映画についていろいろな観点からコメントする／好きな映画のシーンを説明する

第12回 【トピック7：お気に入りの映画】読む：映画のレビューを比較して読む、書く：映画レビューを投稿する

第13回 【トピック9：歴史】トピックの準備、聞く：歴史上の人物についての話を聞く

第14回 【トピック9：歴史】話す：他の国の歴史や文化について知っていることを話す

第15回 【トピック9：歴史】読む：歴史上の人物についての記事を読む、ふりかえり

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

※取り扱いトピックは、学生諸君の希望により、初回授業後に変更する可能性があります

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

毎週、翌週の授業で使う「新出語彙リスト」を配付するので、未知語について予習してきてください。（週30分程度）

授業で扱ったトピックに関する書く課題を3回に1回の頻度で課します。（1回60分程度）

教科書・参考書

教科書：国際交流基金『まると日本の言葉と文化中級2』（三修社） <https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384057607/>

※教科書に直接書き込むため、できるかぎりpaperback版を購入してください。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅡ

後期

曜日時限

火 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
演習	1～	後期	1	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	50	50	0	0	0	100

教育到達目標と概要

目標：身近な話題について、必要な情報を聞き取ったり、相手の話の主要点が理解できる。

相手とのやり取りで、まとまりのある話ができる。

インターネットのブログや情報記事など、ふりがなのない文章を読んで、主要点が理解できる。

SNSやメールなど、日常的な場面で、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をしながら、場面に応じて聞く・話す・読む・書くの4技能を用いた日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。仕事・娯楽・学校などの普段出会う場面で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

【トピック2：旅行】トピックの準備、聞く：旅行の経験談を聞く

第2回 【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する

第3回 【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む、書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く

第4回 【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備、聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く

第5回 【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する

第6回 【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む、書く：自分が関わるイベントのチラシを作る

第7回 【トピック5：身近なニュース】トピックの準備、聞く：身近なテーマのニュースを聞く

第8回 【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する

第9回 【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む、ふりかえり

第10回 【トピック7：お気に入りの映画】トピックの準備、聞く：映画についての感想やコメントを聞く

第11回 【トピック7：お気に入りの映画】話す：見た映画についていろいろな観点からコメントする／好きな映画のシーンを説明する

第12回 【トピック7：お気に入りの映画】読む：映画のレビューを比較して読む、書く：映画レビューを投稿する

第13回 【トピック9：歴史】トピックの準備、聞く：歴史上の人物についての話を聞く

第14回 【トピック9：歴史】話す：他の国の歴史や文化について知っていることを話す

第15回 【トピック9：歴史】読む：歴史上の人物についての記事を読む、ふりかえり

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

※取り扱いトピックは、学生諸君の希望により、初回授業後に変更する可能性があります

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

毎週、翌週の授業で使う「新出語彙リスト」を配付するので、未知語について予習してきてください。（週30分程度）

授業で扱ったトピックに関する書く課題を3回に1回の頻度で課します。（1回60分程度）

教科書・参考書

教科書：国際交流基金『まると日本の言葉と文化中級2』（三修社） <https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384057607/>

※教科書に直接書き込むため、できるかぎりpaperback版を購入してください。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅡ

後期

曜日時限

火 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	50	50	0	0	0	100

教育到達目標と概要

目標：身近な話題について、必要な情報を聞き取ったり、相手の話の主要点が理解できる。

相手とのやり取りで、まとまりのある話ができる。

インターネットのブログや情報記事など、ふりがなのない文章を読んで、主要点が理解できる。

SNSやメールなど、日常的な場面で、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をしながら、場面に応じて聞く・話す・読む・書くの4技能を用いた日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。仕事・娯楽・学校などの普段出会う場面で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

【トピック2：旅行】トピックの準備、聞く：旅行の経験談を聞く

第2回 【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する

第3回 【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む、書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く

第4回 【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備、聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く

第5回 【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する

第6回 【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む、書く：自分が関わるイベントのチラシを作る

第7回 【トピック5：身近なニュース】トピックの準備、聞く：身近なテーマのニュースを聞く

第8回 【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する

第9回 【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む、ふりかえり

第10回 【トピック7：お気に入りの映画】トピックの準備、聞く：映画についての感想やコメントを聞く

第11回 【トピック7：お気に入りの映画】話す：見た映画についていろいろな観点からコメントする／好きな映画のシーンを説明する

第12回 【トピック7：お気に入りの映画】読む：映画のレビューを比較して読む、書く：映画レビューを投稿する

第13回 【トピック9：歴史】トピックの準備、聞く：歴史上の人物についての話を聞く

第14回 【トピック9：歴史】話す：他の国の歴史や文化について知っていることを話す

第15回 【トピック9：歴史】読む：歴史上の人物についての記事を読む、ふりかえり

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

※取り扱いトピックは、学生諸君の希望により、初回授業後に変更する可能性があります

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

毎週、翌週の授業で使う「新出語彙リスト」を配付するので、未知語について予習してきてください。（週30分程度）

授業で扱ったトピックに関する書く課題を3回に1回の頻度で課します。（1回60分程度）

教科書・参考書

教科書：国際交流基金『まると日本の言葉と文化中級2』（三修社） <https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384057607/>

※教科書に直接書き込むため、できるかぎりpaperback版を購入してください。

科目名ークラス名

日本語文法とコミュニケーションⅢ

曜日時限
木 1時限

担当教員
小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	0	60	0	0	40	

教育到達目標と概要

目標：まとまった内容もつ文章の作成、プレゼンテーションの能力を身につける。
概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。プレゼンテーションも文章作成も、実際に制作する前に構成や内容について授業内で話す。

学修成果

大学が必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション
第2回	ショートスピーチと質問
第3回	意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)
第4回	意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)
第5回	意見文を書く（意見の根拠としてデータを示す）
第6回	言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)
第7回	言葉の定義発表(相互に紹介)
第8回	発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)
第9回	発表準備 パワーポイント作成
第10回	発表準備 話をする練習
第11回	発表(発表に対する質問) 1
第12回	発表(発表に対する質問) 2、相互コメント
第13回	発表の文章化
第14回	レポート返却(レポートのポイントチェック)
第15回	振り返り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名ークラス名

日本語文法とコミュニケーションⅢ

曜日時限

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	0	60	0	0	40	

教育到達目標と概要

目標：まとまった内容もつ文章の作成、プレゼンテーションの能力を身につける。
概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。プレゼンテーションも文章作成も、実際に制作する前に構成や内容について授業内で話す。

学修成果

大学が必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く（意見の根拠としてデータを示す）

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅢ

前期

曜日時限

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	前期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	60	0	0	40	100

教育到達目標と概要

目標：大学生として必要とされる文章作成、プレゼンテーションの能力を身につける。

概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

大学の授業で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く（意見の根拠としてデータを示す）

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅢ

後期

曜日時限

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	60	0	0	40	100

教育到達目標と概要

目標：大学生として必要とされる文章作成、プレゼンテーションの能力を身につける。

概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

大学の授業で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く（意見の根拠としてデータを示す）

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅢ

前期

曜日時限

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	前期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	60	0	0	40	100

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに沿って文章を作成する能力および、プレゼンテーションの能力を身につける。

概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

大学で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く（証拠としてデータを示す）

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーションⅢ

後期

曜日時限

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	60	0	0	40	100

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに沿って文章を作成する能力および、プレゼンテーションの能力を身につける。

概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

大学で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く（証拠としてデータを示す）

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ

曜日・時限

火 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	50	50	0	0	0	

教育到達目標と概要

目標：身近な話題について、必要な情報を聞き取ったり、相手の話の主要点が理解できる。

相手とのやり取りで、まとまりのある話ができる。

インターネットのブログや情報記事など、ふりがなのない文章を読んで、主要点が理解できる。

SNSやメールなど、日常的な場面で、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をしながら、場面に応じて聞く・話す・読む・書くの4技能を用いた日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。仕事・娯楽・学校などの普段出会う場面で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 【トピック2：旅行】トピックの準備、聞く：旅行の経験談を聞く
第2回	【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する
第3回	【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む、書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く
第4回	【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備、聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く
第5回	【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する
第6回	【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む、書く：自分が関わるイベントのチラシを作る
第7回	【トピック5：身近なニュース】トピックの準備、聞く：身近なテーマのニュースを聞く
第8回	【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する
第9回	【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む、ふりかえり
第10回	【トピック7：お気に入りの映画】トピックの準備、聞く：映画についての感想やコメントを聞く
第11回	【トピック7：お気に入りの映画】話す：見た映画についていろいろな観点からコメントする／好きな映画のシーンを説明する
第12回	【トピック7：お気に入りの映画】読む：映画のレビューを比較して読む、書く：映画レビューを投稿する
第13回	【トピック9：歴史】トピックの準備、聞く：歴史上の人物についての話を聞く
第14回	【トピック9：歴史】話す：他の国の歴史や文化について知っていることを話す
第15回	【トピック9：歴史】読む：歴史上の人物についての記事を読む、ふりかえり
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

中級日本語Ⅰ

後期

曜日時限

水 2時限

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	後期	3	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な日本語文法を理解し、日常的なコミュニケーションが支障なくできるようになる。

概要：平易な文法の確認をしながら、日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

平易な文法と日常使われる語彙で書かれた日本語を理解し、自分自身のことについても簡単な文章で伝えられる。

外国人と話すことに慣れていない人とでも日常的な短い会話をスムーズにすることができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ①オリエンテーション 自分について話す
②読解(人のコミュニケーションについて)

- 第2回 ①興味を持っていることについて話す、質問する(テキスト トピック1)
②意見の表現(人のコミュニケーションについて)
③料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

- 第3回 ①お勧めの料理について話す、レストランなどの店の情報を聞いて、値段や料理の種類がわかる(テキスト トピック2)
②読解、意見の表現(留学先について)
③料理の説明（話す、書く）

- 第4回 ①故郷の特徴的な料理について説明する(テキスト トピック2)
・小テスト
②読解、意見の表現(外国で生活することについて)
③衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

- 第5回 ①音楽のジャンル、特徴について、聞いたり話したりする(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(仕事について)
③衣服、買い物について（話す、書く）

- 第6回 ①好きな音楽について、その魅力や好きになった経緯を話したり、聞いたりする(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(経済について)
③価値観（語彙、表現、聞き取り）

- 第7回 ①コンサートについて書かれた文章を読む(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(環境問題について)
③価値観（話す、書く）

- 第8回 ①お勧めのコンサート情報、音楽サイトを伝える(テキスト トピック3)
旅行地の案内を聞き、その特徴を理解する(テキスト トピック4)
・小テスト
②読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)
③家を探す（語彙、表現、聞き取り）

- 第9回 ①旅行先での会話(希望を伝える)(テキスト トピック4)
②読解、意見の表現(健康について)
③家を探す（話す、書く）

- 第10回 ①旅行の経験について話す、質問する(テキスト トピック4)
②読解、意見の表現(福祉について)
③体調（語彙、表現、聞き取り）

- 第11回 ①近況報告(短い文章で書く)(テキスト トピック5)
②読解、意見の表現(教育と学習方法について)
③体調（話す、書く）

- 第12回 ①近況報告(会話)（テキスト トピック5)
・小テスト
②読解、意見の表現(情報との付き合い方について)
③キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

- 第13回 ①漫画について話す(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(新しい技術について)
③キャラクター（話す、書く）

- 第14回 ①ストーリーを説明する(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(科学について)
③季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

- 第15回 ①便利な道具について説明する(テキスト トピック7)
②振り返り
③季節の言葉（話す、書く）

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

中級日本語Ⅰ

前期

曜日・時限

火 1時限

金 2時限

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：平易な日本語文法を理解し、日常的なコミュニケーションが支障なくできるようになる。

概要：平易な文法の確認をしながら、日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

平易な文法と日常使われる語彙で書かれた日本語を理解し、自分自身のことについても簡単な文章で伝えられる。

外国人と話すことに慣れていない人とも日常的な短い会話をスムーズにすることができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ①オリエンテーション 自分について話す
②読解(人のコミュニケーションについて)

- 第2回 ①興味を持っていることについて話す、質問する(テキスト トピック1)
②意見の表現(人のコミュニケーションについて)
③料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

- 第3回 ①お好みの料理について話す、レストランなどの店の情報を聞いて、値段や料理の種類がわかる(テキスト トピック2)
②読解、意見の表現(留学先について)
③料理の説明（話す、書く）

- 第4回 ①故郷の特徴的な料理について説明する(テキスト トピック2)
・小テスト
②読解、意見の表現(外国で生活することについて)
③衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

- 第5回 ①音楽のジャンル、特徴について、聞いたり話したりする(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(仕事について)
③衣服、買い物について（話す、書く）

- 第6回 ①好きな音楽について、その魅力や好きになった経緯を話したり、聞いたりする(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(経済について)
③価値観（語彙、表現、聞き取り）

- 第7回 ①コンサートについて書かれた文章を読む(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(環境問題について)
③価値観（話す、書く）

- 第8回 ①お好みのコンサート情報、音楽サイトを伝える(テキスト トピック3)
旅行地の案内を聞き、その特徴を理解する(テキスト トピック4)
・小テスト
②読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)
③家を探す（語彙、表現、聞き取り）

- 第9回 ①旅行先での会話(希望を伝える)(テキスト トピック4)
②読解、意見の表現(健康について)
③家を探す（話す、書く）

- 第10回 ①旅行の経験について話す、質問する(テキスト トピック4)
②読解、意見の表現(福祉について)
③体調（語彙、表現、聞き取り）

- 第11回 ①近況報告(短い文章で書く)(テキスト トピック5)
②読解、意見の表現(教育と学習方法について)
③体調（話す、書く）

- 第12回 ①近況報告(会話)（テキスト トピック5)
・小テスト
②読解、意見の表現(情報との付き合い方について)
③キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

- 第13回 ①漫画について話す(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(新しい技術について)
③キャラクター（話す、書く）

- 第14回 ①ストーリーを説明する(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(科学について)
③季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

- 第15回 ①便利な道具について説明する(テキスト トピック7)
②振り返り
③季節の言葉（話す、書く）

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

中級日本語 II

前期

曜日時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関してクラス内で相互に意見交換をする。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

中級日本語 II

後期

曜日時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	後期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関してクラス内で相互に意見交換をする。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

中級日本語Ⅳ

曜日・時間	担当教員
金 2時限	小笠 恵美子
水 2時限	

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	3～	前期	3	評価割合	40	40	0	0	20	100

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。

コミュニケーションにおいて、まとまりのある話の主要な点を理解し、自分からも、情報発信としてまとまりのある話ができる。

インターネットの情報記事の主要点を理解し、自分からもSNSやメールなどで、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をする。

聞く・話す・読む・書くの4技能を用いて、自らの情報発信を伴った日常的なコミュニケーションを学修する。

学修成果

日本語による日常的な会話が楽しめるようになる。日常生活で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて) 【トピック1：人物紹介】トピックの準備 聞く：その場にいない人についての話を聞く
第2回	意見の表現(人のコミュニケーションについて)、説明の聞き取り(日本の特有のもの) 【トピック1：人物紹介】話す：共通の知り合いについてコメントする"
第3回	"読解、意見の表現(情報と教育について)、説明の聞き取り(製品の説明) 【トピック1：人物紹介】読む：人物のインタビュー記事を読む 書く：友達を紹介するメールを書く
第4回	"読解、意見の表現(仕事について)、説明の聞き取り(サービスについての説明) 【トピック2：旅行】トピックの準備 聞く：旅行の経験談を聞く
第5回	読解、意見の表現(個性と人生について)、説明の聞き取り(特定のサービスの説明) 【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する
第6回	"読解、意見の表現(教育について)、説明の聞き取り(特定の場所についての説明) 【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む 書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く
第7回	読解、意見の表現(経済について)、説明の聞き取り(言葉の意味の説明) 【トピック3：健康的な生活】トピックの準備 聞く：健康のための運動の話を聞く
第8回	読解、意見の表現(新しい技術について)、説明の聞き取り(調査内容の説明) 【トピック3：健康的な生活】話す：健康法について話す"
第9回	読解、意見の表現(コミュニケーションについて)、説明の聞き取り(新技術の説明) 【トピック3：健康的な生活】読む：インターネットの掲示板を読む 書く：健康法を紹介する記事を書く
第10回	読解、意見の表現(人生について説明する)、説明の聞き取り(数字の変化を示す説明) 【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備 聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く"
第11回	読解、意見の表現(福祉と仕事について)、説明の聞き取り(調査結果を聞く) 【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する
第12回	読解、意見の表現(教育と学習方法について)、依頼に反応する表現、説明の聞き取り(伝統文化の説明) 【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む 書く：自分が関わるイベントのチラシを作る
第13回	読解、意見の表現(情報との付き合い方について)、言い訳をする表現、説明の聞き取り(伝統技術の説明) 【トピック5：身近なニュース】トピックの準備 聞く：身近なテーマのニュースを聞く"
第14回	読解、意見の表現(科学について)、説明の聞き取り(人の紹介) 【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する
第15回	振り返り、感想を述べる表現 【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む ふりかえり
第16回	
第17回	
第18回	

第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。
国際交流基金『まるごと日本の言葉と文化中級2』（三修社） <https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384057607/>
※教科書に直接書き込むため、paperback版を購入してください。

科目名－クラス名

中級日本語Ⅳ

前期

曜日・時間

水 2時限

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	40	40	0	0	20	

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。

コミュニケーションにおいて、まとまりのある話の主要な点を理解し、自分からも、情報発信としてまとまりのある話ができる。

インターネットの情報記事の主要点を理解し、自分からもSNSやメールなどで、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をする。

聞く・話す・読む・書くの4技能を用いて、自らの情報発信を伴った日常的なコミュニケーションを学修する。

学修成果

日本語による日常的な会話が楽しめるようになる。日常生活で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

【トピック1：人物紹介】トピックの準備

聞く：その場にいない人についての話を聞く

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)、説明の聞き取り(日本の特有のもの)

【トピック1：人物紹介】話す：共通の知り合いについてコメントする"

第3回 "読解、意見の表現(情報と教育について)、説明の聞き取り(製品の説明)

【トピック1：人物紹介】読む：人物のインタビュー記事を読む

書く：友達を紹介するメールを書く

第4回 "読解、意見の表現(仕事について)、説明の聞き取り(サービスについての説明)

【トピック2：旅行】トピックの準備

聞く：旅行の経験談を聞く

第5回 読解、意見の表現(個性と人生について)、説明の聞き取り(特定のサービスの説明)

【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する

第6回 "読解、意見の表現(教育について)、説明の聞き取り(特定の場所についての説明)

【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む

書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く

第7回 読解、意見の表現(経済について)、説明の聞き取り(言葉の意味の説明)

【トピック3：健康的な生活】トピックの準備

聞く：健康のための運動の話を聞く

第8回 読解、意見の表現(新しい技術について)、説明の聞き取り(調査内容の説明)

【トピック3：健康的な生活】話す：健康法について話す"

第9回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)、説明の聞き取り(新技術の説明)

【トピック3：健康的な生活】読む：インターネットの掲示板を読む

書く：健康法を紹介する記事を書く

第10回 読解、意見の表現(人生について説明する)、説明の聞き取り(数字の変化を示す説明)

【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備

聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く"

第11回 読解、意見の表現(福祉と仕事について)、説明の聞き取り(調査結果を聞く)

【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する

第12回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)、依頼に反応する表現、説明の聞き取り(伝統文化の説明)

【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む

書く：自分が関わるイベントのチラシを作る

第13回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)、言い訳をする表現、説明の聞き取り(伝統技術の説明)

【トピック5：身近なニュース】トピックの準備

聞く：身近なテーマのニュースを聞く"

第14回 読解、意見の表現(科学について)、説明の聞き取り(人の紹介)

【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する

第15回 振り返り、感想を述べる表現

【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む

ふりかえり

第16回

第17回

第18回

第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。
国際交流基金『まるごと日本の言葉と文化中級2』（三修社） <https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384057607/>
※教科書に直接書き込むため、paperback版を購入してください。

科目名－クラス名

中級日本語Ⅳ

後期

曜日時限

火 1時限

金 2時限

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	2～	後期	3

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	40	40	0	0	20	100

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。

コミュニケーションにおいて、まとまりのある話の主要な点を理解し、自分からも、情報発信としてまとまりのある話ができる。

インターネットの情報記事の主要点を理解し、自分からもSNSやメールなどで、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をする。

聞く・話す・読む・書くの4技能を用いて、自らの情報発信を伴った日常的なコミュニケーションを学修する。

学修成果

日本語による日常的な会話が楽しめるようになる。日常生活で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

【トピック1：人物紹介】トピックの準備

聞く：その場にいない人についての話を聞く

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)、説明の聞き取り(日本の特有のもの)

【トピック1：人物紹介】話す：共通の知り合いについてコメントする"

第3回 "読解、意見の表現(情報と教育について)、説明の聞き取り(製品の説明)

【トピック1：人物紹介】読む：人物のインタビュー記事を読む

書く：友達を紹介するメールを書く

第4回 "読解、意見の表現(仕事について)、説明の聞き取り(サービスについての説明)

【トピック2：旅行】トピックの準備

聞く：旅行の経験談を聞く

第5回 読解、意見の表現(個性と人生について)、説明の聞き取り(特定のサービスの説明)

【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する

第6回 "読解、意見の表現(教育について)、説明の聞き取り(特定の場所についての説明)

【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む

書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く

第7回 読解、意見の表現(経済について)、説明の聞き取り(言葉の意味の説明)

【トピック3：健康的な生活】トピックの準備

聞く：健康のための運動の話を聞く

第8回 読解、意見の表現(新しい技術について)、説明の聞き取り(調査内容の説明)

【トピック3：健康的な生活】話す：健康法について話す"

第9回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)、説明の聞き取り(新技術の説明)

【トピック3：健康的な生活】読む：インターネットの掲示板を読む

書く：健康法を紹介する記事を書く

第10回 読解、意見の表現(人生について説明する)、説明の聞き取り(数字の変化を示す説明)

【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備

聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く"

第11回 読解、意見の表現(福祉と仕事について)、説明の聞き取り(調査結果を聞く)

【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する

第12回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)、依頼に反応する表現、説明の聞き取り(伝統文化の説明)

【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む

書く：自分が関わるイベントのチラシを作る

第13回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)、言い訳をする表現、説明の聞き取り(伝統技術の説明)

【トピック5：身近なニュース】トピックの準備

聞く：身近なテーマのニュースを聞く"

第14回 読解、意見の表現(科学について)、説明の聞き取り(人の紹介)

【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する

第15回 振り返り、感想を述べる表現

【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む

ふりかえり

第16回

第17回

第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。
国際交流基金『まるごと日本の言葉と文化中級2』（三修社） <https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384057607/>
※教科書に直接書き込むため、paperback版を購入してください。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅰ

曜日・時間

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	0	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留學生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、テーマについて自分の意見を言ったり書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について書かれたものから情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留學先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅰ

曜日・時間

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	0	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、テーマについて自分の意見を言ったり書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について書かれたものから情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅰ

前期

曜日・時間

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、それについて意見を言ったり、書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅰ

後期

曜日・時間

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、それについて意見を言ったり、書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅰ

後期

曜日・時間

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、それについて意見を言ったり、書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅰ

前期

曜日・時間

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	前期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、それについて話したり、書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅰ

後期

曜日・時間

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、それについて話したり、書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅱ

曜日・時間

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	0	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた現代の社会の問題に関わるのテーマに関する文章を読み、テーマについて理解を深め、自分の意見、考えを表現することができる。
概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、テーマについて自分の意見を言ったり書いたりする。

学修成果

社会の問題に関する語彙力をつけ、現代の社会問題について書かれたものから情報をとることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

"中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。"

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅱ

曜日時限
木 2時限

担当教員
小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに関する文章を読み、そのテーマについて理解し、自分の意見、考えを読み手の理解に配慮しながら表現し、意見交換ができる。

概要：日本語学習者のために書かれた一定のテーマに関する文章の読解、及びその内容に関連した話し合い、文章作成を行う。

学修成果

平易な表現の文章は、辞書で語彙を確認しながら理解することができる。

複数の段落を伴った自分の意見を示す文章を書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(食生活について)

第2回 意見の表現(旅行中の人間関係について)

第3回 読解、意見の表現(住居について)

第4回 読解、意見の表現(気象について)
・小テスト

第5回 読解、意見の表現(科学技術について)

第6回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 上)

第7回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 下)

第8回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)
・小テスト

第9回 読解、意見の表現(テレビ映像の伝えるものについて)

第10回 読解、意見の表現(技術革新について)

第11回 読解、意見の表現(体と脳の機能について)

第12回 読解、意見の表現(宇宙について 上)
・小テスト

第13回 読解、意見の表現(宇宙について 下)

第14回 読解、意見の表現(情報の作り方について 上)

第15回 読解、意見の表現(情報の作り方について 下)
振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅱ

曜日・時限

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに関する文章を読み、書かれたテーマについて理解したうえで、自分の意見や考えを読み手の理解に配慮しながら表現し、意見交換ができる。
概要：日本語学習者のために書かれた一定のテーマに関する文章の読解、及びその内容に関連した話し合い、文章作成を行う。

学修成果

平易な表現の文章は、辞書で語彙を確認しながら理解することができる。
複数の段落を伴った自分の意見を示す文章を書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(食生活について)

第2回 意見の表現(旅行中の人間関係について)

第3回 読解、意見の表現(住居について)

第4回 読解、意見の表現(気象について)
・小テスト

第5回 読解、意見の表現(科学技術について)

第6回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 上)

第7回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 下)

第8回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)
・小テスト

第9回 読解、意見の表現(テレビ映像の伝えるものについて)

第10回 読解、意見の表現(技術革新について)

第11回 読解、意見の表現(体と脳の機能について)

第12回 読解、意見の表現(宇宙について 上)
・小テスト

第13回 読解、意見の表現(宇宙について 下)

第14回 読解、意見の表現(情報の作り方について 上)

第15回 読解、意見の表現(情報の作り方について 下)
振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅱ

前期

曜日・時限

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに関する文章を読み、書かれたテーマについて理解したうえで、自分の意見や考えを読み手の理解に配慮しながら表現し、意見交換ができる。
概要：日本語学習者のために書かれた一定のテーマに関する文章の読解、及びその内容に関連した話し合い、文章作成を行う。

学修成果

平易な表現の文章は、辞書で語彙を確認しながら理解することができる。
複数の段落を伴った自分の意見を示す文章を書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(食生活について)

第2回 意見の表現(旅行中の人間関係について)

第3回 読解、意見の表現(住居について)

第4回 読解、意見の表現(気象について)
・小テスト

第5回 読解、意見の表現(科学技術について)

第6回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 上)

第7回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 下)

第8回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)
・小テスト

第9回 読解、意見の表現(テレビ映像の伝えるものについて)

第10回 読解、意見の表現(技術革新について)

第11回 読解、意見の表現(体と脳の機能について)

第12回 読解、意見の表現(宇宙について 上)
・小テスト

第13回 読解、意見の表現(宇宙について 下)

第14回 読解、意見の表現(情報の作り方について 上)

第15回 読解、意見の表現(情報の作り方について 下)
振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会Ⅱ

後期

曜日時限

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに関する文章を読み、理解したうえで、そのテーマについて自分の意見や考えを読み手の理解に配慮しながら表現し、意見交換ができる。
概要：日本語学習者のために書かれた一定のテーマに関する文章の読解、文法解説及びその内容に関連した話し合い、文章作成を行う。

学修成果

平易な表現の文章は辞書などで語彙を確認しながら読み、理解することができる。
一定のテーマの文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(食生活について)

第2回 意見の表現(旅行中の人間関係について)

第3回 読解、意見の表現(住居について)

第4回 読解、意見の表現(気象について)
・小テスト

第5回 読解、意見の表現(科学技術について)

第6回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 上)

第7回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 下)

第8回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)
・小テスト

第9回 読解、意見の表現(テレビ映像の伝えるものについて)

第10回 読解、意見の表現(技術革新について)

第11回 読解、意見の表現(体と脳の機能について)

第12回 読解、意見の表現(宇宙について 上)
・小テスト

第13回 読解、意見の表現(宇宙について 下)

第14回 読解、意見の表現(情報の作り方について 上)

第15回 読解、意見の表現(情報の作り方について 下)
振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語と日本社会研究Ⅰ

曜日・時限

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	前期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた一定のテーマに関する文章を読み、関連するテーマについて考えを深め、自分の意見を表現することができる。

概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、内容を理解する。

読んだテーマについて自分の意見を言ったり書いたり、更に読んだりする。

学修成果

社会の問題に関する幅広い語彙力をつけ、現代の社会問題について書かれたものを調べることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

日本語と日本社会研究Ⅰ

曜日・時限

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な表現で書かれた一定のテーマに関する文章を読み、関連するテーマについて考えを深め、自分の意見を表現することができる。

概要：日本語学習者のために書かれた留学生活、現代社会の問題をテーマとした文章を読み、内容を理解する。

読んだテーマについて自分の意見を言ったり書いたり、更に読んだりする。

学修成果

社会の問題に関する幅広い語彙力をつけ、現代の社会問題について書かれたものを調べることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて)

第2回 意見の表現(人のコミュニケーションについて)

第3回 読解、意見の表現(留学先について)

第4回 読解、意見の表現(外国で生活することについて)

第5回 読解、意見の表現(仕事について)

第6回 読解、意見の表現(経済について)

第7回 読解、意見の表現(環境問題について)

第8回 読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)

第9回 読解、意見の表現(健康について)

第10回 読解、意見の表現(福祉について)

第11回 読解、意見の表現(教育と学習方法について)

第12回 読解、意見の表現(情報との付き合い方について)

第13回 読解、意見の表現(新しい技術について)

第14回 読解、意見の表現(科学について)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

日本語と日本社会研究Ⅱ

曜日・時限

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに関する文章を読み、関連するテーマについて深く理解し、自分の意見や考えを読み手の理解に配慮しながら表現し、意見交換ができる。
概要：日本語学習者のために書かれた一定のテーマに関する文章の読解、及びその内容に関連した話し合い、文章作成を行う。

学修成果

新聞など、一般的な表現の文章は、辞書で語彙を確認しながら理解することができる。
段落構成を考えて自分の意見を示す文章を書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(食生活について)

第2回 意見の表現(旅行中の人間関係について)

第3回 読解、意見の表現(住居について)

第4回 読解、意見の表現(気象について)
・小テスト

第5回 読解、意見の表現(科学技術について)

第6回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 上)

第7回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 下)

第8回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)
・小テスト

第9回 読解、意見の表現(テレビ映像の伝えるものについて)

第10回 読解、意見の表現(技術革新について)

第11回 読解、意見の表現(体と脳の機能について)

第12回 読解、意見の表現(宇宙について 上)
・小テスト

第13回 読解、意見の表現(宇宙について 下)

第14回 読解、意見の表現(情報の作り方について 上)

第15回 読解、意見の表現(情報の作り方について 下)
振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

日本語と日本社会研究Ⅱ

曜日・時限

水 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：一定のテーマに関する文章を読み、関連するテーマについて深く理解し、自分の意見や考えを読み手の理解に配慮しながら表現し、意見交換ができる。

概要：日本語学習者のために書かれた一定のテーマに関する文章の読解、及びその内容に関連した話し合い、文章作成を行う。

学修成果

新聞など、一般的な表現の文章は、辞書で語彙を確認しながら理解することができる。

段落構成を考えて自分の意見を示す文章を書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 読解(食生活について)

第2回 意見の表現(旅行中の人間関係について)

第3回 読解、意見の表現(住居について)

第4回 読解、意見の表現(気象について)
・小テスト

第5回 読解、意見の表現(科学技術について)

第6回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 上)

第7回 読解、意見の表現(歴史上の人物について 下)

第8回 読解、意見の表現(コミュニケーションについて)
・小テスト

第9回 読解、意見の表現(テレビ映像の伝えるものについて)

第10回 読解、意見の表現(技術革新について)

第11回 読解、意見の表現(体と脳の機能について)

第12回 読解、意見の表現(宇宙について 上)
・小テスト

第13回 読解、意見の表現(宇宙について 下)

第14回 読解、意見の表現(情報の作り方について 上)

第15回 読解、意見の表現(情報の作り方について 下)
振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実用日本語Ⅰ

曜日時限

水 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	0	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：生活上の幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：日常的な日本語の語彙を身に着け、それらの語彙を使ってやりとりする能力を向上させる。

学修成果

会話の際に、短いエピソードを交えた話を聞いて理解することができるようになる。

相手の質問に対して自分の意見や考えを短いエピソードを交えて伝えることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

第3回 料理の説明（話す、書く）

第4回 衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

第5回 衣服、買い物について（話す、書く）

第6回 価値観（語彙、表現、聞き取り）

第7回 価値観（話す、書く）

第8回 家を探す（語彙、表現、聞き取り）

第9回 家を探す（話す、書く）

第10回 体調（語彙、表現、聞き取り）

第11回 体調（話す、書く）

第12回 キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

第13回 キャラクター（話す、書く）

第14回 季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

第15回 振り返り、季節の言葉（話す、書く）

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

テキストを使います。テキストを準備して授業に参加してください。電子書籍でも買うことができます。
『身近なテーマからひろげる！ 日本語語彙力アップトレーニング』木下謙朗、三橋麻子、丸山真貴子著 アスク
電子書籍のサイト (https://www.amazon.co.jp/dp/B098XGDXQY/ref=dp_kinw_strp_2)

科目名－クラス名

実用日本語Ⅰ

曜日時限

金 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	0	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：生活上の幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：日常的な日本語の語彙を身に着け、それらの語彙を使ってやりとりする能力を向上させる。

学修成果

会話の際に、短いエピソードを交えた話を聞いて理解することができるようになる。

相手の質問に対して自分の意見や考えを短いエピソードを交えて伝えることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

第3回 料理の説明（話す、書く）

第4回 衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

第5回 衣服、買い物について（話す、書く）

第6回 価値観（語彙、表現、聞き取り）

第7回 価値観（話す、書く）

第8回 家を探す（語彙、表現、聞き取り）

第9回 家を探す（話す、書く）

第10回 体調（語彙、表現、聞き取り）

第11回 体調（話す、書く）

第12回 キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

第13回 キャラクター（話す、書く）

第14回 季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

第15回 振り返り、季節の言葉（話す、書く）

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

テキストを使います。テキストを準備して授業に参加してください。電子書籍でも買うことができます。
『身近なテーマからひろげる！ 日本語語彙力アップトレーニング』木下謙朗、三橋麻子、丸山真貴子著 アスク
電子書籍のサイト (https://www.amazon.co.jp/dp/B098XGDXQY/ref=dp_kinw_strp_2)

科目名－クラス名

実用日本語Ⅰ

前期

曜日時限

金 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：生活上の幅広い場面に対応できるようなコミュニケーション能力を向上させる。

概要：日常的な日本語の語彙を身に着け、それらの語彙を使ってやりとりする能力を向上させる。

学修成果

会話の際に相手の話す短いエピソードを交えた話を聞いて、相手の伝えたいことが理解できるようになる。

相手の質問に対して自分の意見や考えを説明することができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

第3回 料理の説明（話す、書く）

第4回 衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

第5回 衣服、買い物について（話す、書く）

第6回 価値観（語彙、表現、聞き取り）

第7回 価値観（話す、書く）

第8回 家を探す（語彙、表現、聞き取り）

第9回 家を探す（話す、書く）

第10回 体調（語彙、表現、聞き取り）

第11回 体調（話す、書く）

第12回 キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

第13回 キャラクター（話す、書く）

第14回 季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

第15回 振り返り、季節の言葉（話す、書く）

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

テキストを使います。テキストを準備して授業に参加してください。電子書籍でも買うことができます。
『身近なテーマからひろげる！ 日本語語彙力アップトレーニング』木下謙朗、三橋麻子、丸山真貴子著 アスク
電子書籍のサイト (https://www.amazon.co.jp/dp/B098XGDXQY/ref=dp_kinw_strp_2)

科目名－クラス名

実用日本語Ⅰ

後期

曜日時限

水 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：生活上の幅広い場面に対応できるようなコミュニケーション能力を向上させる。

概要：日常的な日本語の語彙を身に着け、それらの語彙を使ってやりとりする能力を向上させる。

学修成果

会話の際に相手の話す短いエピソードを交えた話を聞いて、相手の伝えたいことが理解できるようになる。

相手の質問に対して自分の意見や考えを説明することができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

第3回 料理の説明（話す、書く）

第4回 衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

第5回 衣服、買い物について（話す、書く）

第6回 価値観（語彙、表現、聞き取り）

第7回 価値観（話す、書く）

第8回 家を探す（語彙、表現、聞き取り）

第9回 家を探す（話す、書く）

第10回 体調（語彙、表現、聞き取り）

第11回 体調（話す、書く）

第12回 キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

第13回 キャラクター（話す、書く）

第14回 季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

第15回 振り返り、季節の言葉（話す、書く）

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

テキストを使います。テキストを準備して授業に参加してください。電子書籍でも買うことができます。
『身近なテーマからひろげる！ 日本語語彙力アップトレーニング』木下謙朗、三橋麻子、丸山真貴子著 アスク
電子書籍のサイト (https://www.amazon.co.jp/dp/B098XGDXQY/ref=dp_kinw_strp_2)

科目名－クラス名

実用日本語Ⅰ

後期

曜日・時間

水 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：生活上の幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：幅広い日常場面で使われる日本語の語彙を身に着けながら、日本語の聞き取り能力を向上させる。

学修成果

日常的なコミュニケーションで起こる短いエピソードを交えた話を聞いて理解することができるようになる。

日常的なコミュニケーションで、自分の感想や考えをエピソードを交えて伝えることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

第3回 料理の説明（話す、書く）

第4回 衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

第5回 衣服、買い物について（話す、書く）

第6回 価値観（語彙、表現、聞き取り）

第7回 価値観（話す、書く）

第8回 家を探す（語彙、表現、聞き取り）

第9回 家を探す（話す、書く）

第10回 体調（語彙、表現、聞き取り）

第11回 体調（話す、書く）

第12回 キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

第13回 キャラクター（話す、書く）

第14回 季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

第15回 振り返り、季節の言葉（話す、書く）

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

テキストを使います。テキストを準備して授業に参加してください。電子書籍でも買うことができます。

『身近なテーマからひろげる！ 日本語語彙力アップトレーニング』木下謙朗、三橋麻子、丸山真貴子著 アスク

電子書籍のサイト (https://www.amazon.co.jp/dp/B098XGDXQY/ref=dp_kinw_strp_2)

科目名－クラス名

実用日本語Ⅰ

前期

曜日時限

金 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：生活上の幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：幅広い日常場面で使われる日本語の語彙を身に着けながら、日本語の聞き取り能力を向上させる。

学修成果

日常的なコミュニケーションで起こる短いエピソードを交えた話を聞いて理解することができるようになる。

日常的なコミュニケーションで、自分の感想や考えをエピソードを交えて伝えることができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

第3回 料理の説明（話す、書く）

第4回 衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

第5回 衣服、買い物について（話す、書く）

第6回 価値観（語彙、表現、聞き取り）

第7回 価値観（話す、書く）

第8回 家を探す（語彙、表現、聞き取り）

第9回 家を探す（話す、書く）

第10回 体調（語彙、表現、聞き取り）

第11回 体調（話す、書く）

第12回 キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

第13回 キャラクター（話す、書く）

第14回 季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

第15回 振り返り、季節の言葉（話す、書く）

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

テキストを使います。テキストを準備して授業に参加してください。電子書籍でも買うことができます。

『身近なテーマからひろげる！ 日本語語彙力アップトレーニング』木下謙朗、三橋麻子、丸山真貴子著 アスク

電子書籍のサイト (https://www.amazon.co.jp/dp/B098XGDXQY/ref=dp_kinw_strp_2)

科目名－クラス名

実用日本語Ⅱ

曜日時限 担当教員
水 2時限 小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：日本で人間関係を築き、学生生活を送るうえで必要とされる幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。
概要：インタビューや、一定のテーマについて説明する話を聞き、日本語の表現、会話のコミュニケーションスタイルを学習する。

学修成果

会話内でのエピソードを交えた話、一定の長さの説明を聞いて理解することができるようになる。相手の話に応じて質問などの反応をすることでよりスムーズなコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 自己紹介、説明の聞き取り（日本語学習者の事例）
第2回	説明の聞き取り(日本の音楽を仕事にする日本語学習者) 会話表現(面接会場でのやり取り)
第3回	説明の聞き取り（住まいについて） 会話表現(面接場面での受け答え)
第4回	説明の聞き取り（健康について） 会話表現（友達に頼む・頼まれる）
第5回	説明の聞き取り(教育) 会話表現（先生に頼む・頼まれる）
第6回	説明の聞き取り(心理) 会話表現（友達に誘う・誘われる）
第7回	説明の聞き取り（ラーメン） 会話表現(先生に誘う・誘われる）
第8回	説明の聞き取り（著作権） 会話表現(予約をする）
第9回	インタビューの聞き取り(趣味と仕事) 会話表現(予約の変更をお願いする）
第10回	インタビューの聞き取り(職家の仕事) 会話表現(お詫びする）
第11回	インタビューの聞き取り(パレリーナの生活) 会話表現（質問を投げかける）
第12回	インタビューの聞き取り（代々木の紹介） インタビュー準備1（テーマについて自分なりのエピソードを考える）
第13回	インタビューの聞き取り(上野の紹介) インタビュー準備2（テーマに関する質問を考える）
第14回	雑談の聞き取り インタビュー会話の実践1
第15回	インタビュー会話の実践2（相手を換えてもう一度） 振り返り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	

第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

実用日本語Ⅱ

曜日時限
金 2時限

担当教員
小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：日本で人間関係を築き、学生生活を送るうえで必要とされる幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。
概要：インタビューや、一定のテーマについて説明する話を聞き、日本語の表現、会話のコミュニケーションスタイルを学習する。

学修成果

会話内でのエピソードを交えた話、一定の長さの説明を聞いて理解することができるようになる。相手の話に応じて質問などの反応をすることでよりスムーズなコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 自己紹介、説明の聞き取り（日本語学習者の事例）
第2回	説明の聞き取り(日本の音楽を仕事にする日本語学習者) 会話表現(面接会場でのやり取り)
第3回	説明の聞き取り（住まいについて） 会話表現(面接場面での受け答え)
第4回	説明の聞き取り（健康について） 会話表現（友達に頼む・頼まれる）
第5回	説明の聞き取り(教育) 会話表現（先生に頼む・頼まれる）
第6回	説明の聞き取り(心理) 会話表現（友達に誘う・誘われる）
第7回	説明の聞き取り（ラーメン） 会話表現(先生に誘う・誘われる）
第8回	説明の聞き取り（著作権） 会話表現(予約をする)
第9回	インタビューの聞き取り(趣味と仕事) 会話表現(予約の変更をお願いする)
第10回	インタビューの聞き取り(職家の仕事) 会話表現(お詫びする)
第11回	インタビューの聞き取り(パレリーナの生活) 会話表現（質問を投げかける）
第12回	インタビューの聞き取り（代々木の紹介） インタビュー準備1（テーマについて自分なりのエピソードを考える）
第13回	インタビューの聞き取り(上野の紹介) インタビュー準備2（テーマに関する質問を考える）
第14回	雑談の聞き取り インタビュー会話の実践1
第15回	インタビュー会話の実践2（相手を換えてもう一度） 振り返り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	

第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

実用日本語Ⅱ

後期

曜日時限

金 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：学生生活を送るうえで必要とされる幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：インタビューや、一定のテーマについて説明する話を聞き、日本語の表現、会話のコミュニケーションスタイルを学習する。

学修成果

会話内でのエピソードを交えた話、一定の長さの説明を聞いて理解することができるようになる。相手の話に応じて質問などの反応をすることでよりスムーズなコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 自己紹介、説明の聞き取り（日本語学習者の事例）

第2回 説明の聞き取り(日本の音楽を仕事にする日本語学習者)
会話表現(面接会場でのやり取り)

第3回 説明の聞き取り（住まいについて）
会話表現(面接場面での受け答え)

第4回 説明の聞き取り（健康について）
会話表現（友達に頼む・頼まれる）

第5回 説明の聞き取り(教育)
会話表現（先生に頼む・頼まれる）

第6回 説明の聞き取り(心理)
会話表現（友達に誘う・誘われる）

第7回 説明の聞き取り（ラーメン）
会話表現(先生に誘う・誘われる)

第8回 説明の聞き取り（著作権）
会話表現(予約をする)

第9回 インタビューの聞き取り(趣味と仕事)
会話表現(予約の変更をお願いする)

第10回 インタビューの聞き取り(職家の仕事)
会話表現(お詫びする)

第11回 インタビューの聞き取り(パレリーナの生活)
会話表現（質問を投げかける）

第12回 インタビューの聞き取り（代々木の紹介）
インタビュー準備1（テーマについて自分なりのエピソードを考える）

第13回 インタビューの聞き取り(上野の紹介)
インタビュー準備2（テーマに関する質問を考える）

第14回 雑談の聞き取り
インタビュー会話の実践1

第15回 インタビュー会話の実践2（相手を換えてもう一度）
振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

実用日本語Ⅱ

前期

曜日時限

水 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：学生生活を送るうえで必要とされる幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：インタビューや、一定のテーマについて説明する話を聞き、日本語の表現、会話のコミュニケーションスタイルを学習する。

学修成果

会話内でのエピソードを交えた話、一定の長さの説明を聞いて理解することができるようになる。相手の話に応じて質問などの反応をすることでよりスムーズなコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 自己紹介、説明の聞き取り（日本語学習者の事例）

第2回 説明の聞き取り(日本の音楽を仕事にする日本語学習者)
会話表現(面接会場でのやり取り)

第3回 説明の聞き取り（住まいについて）
会話表現(面接場面での受け答え)

第4回 説明の聞き取り（健康について）
会話表現（友達に頼む・頼まれる）

第5回 説明の聞き取り(教育)
会話表現（先生に頼む・頼まれる）

第6回 説明の聞き取り(心理)
会話表現（友達に誘う・誘われる）

第7回 説明の聞き取り（ラーメン）
会話表現(先生に誘う・誘われる）

第8回 説明の聞き取り（著作権）
会話表現(予約をする)

第9回 インタビューの聞き取り(趣味と仕事)
会話表現(予約の変更をお願いする)

第10回 インタビューの聞き取り(職家の仕事)
会話表現(お詫びする)

第11回 インタビューの聞き取り(バレリーナの生活)
会話表現（質問を投げかける）

第12回 インタビューの聞き取り（代々木の紹介）
インタビュー準備1（テーマについて自分なりのエピソードを考える）

第13回 インタビューの聞き取り(上野の紹介)
インタビュー準備2（テーマに関する質問を考える）

第14回 雑談の聞き取り
インタビュー会話の実践1

第15回 インタビュー会話の実践2（相手を換えてもう一度）
振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

実用日本語Ⅱ

前期

曜日時限

水 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：学生生活を送るうえで必要とされる幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：インタビューや、一定のテーマについて説明する話を聞き、日本語の表現、会話のコミュニケーションスタイルを学習する。

学修成果

会話内でのエピソードを交えた話、一定の長さの説明を聞いて理解することができるようになる。相手の話に応じて質問などの反応をすることでよりスムーズなコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 自己紹介、説明の聞き取り（日本語学習者の事例）

第2回 説明の聞き取り(日本の音楽を仕事にする日本語学習者)
会話表現(面接会場でのやり取り)

第3回 説明の聞き取り（住まいについて）
会話表現(面接場面での受け答え)

第4回 説明の聞き取り（健康について）
会話表現（友達に頼む・頼まれる）

第5回 説明の聞き取り(教育)
会話表現（先生に頼む・頼まれる）

第6回 説明の聞き取り(心理)
会話表現（友達に誘う・誘われる）

第7回 説明の聞き取り（ラーメン）
会話表現(先生に誘う・誘われる)

第8回 説明の聞き取り（著作権）
会話表現(予約をする)

第9回 インタビューの聞き取り(趣味と仕事)
会話表現(予約の変更をお願いする)

第10回 インタビューの聞き取り(職家の仕事)
会話表現(お詫びする)

第11回 インタビューの聞き取り(パレリーナの生活)
会話表現（質問を投げかける）

第12回 インタビューの聞き取り（代々木の紹介）
インタビュー準備1（テーマについて自分なりのエピソードを考える）

第13回 インタビューの聞き取り(上野の紹介)
インタビュー準備2（テーマに関する質問を考える）

第14回 雑談の聞き取り
インタビュー会話の実践1

第15回 インタビュー会話の実践2（相手を換えてもう一度）
振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

実用日本語Ⅱ

後期

曜日時限

金 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：学生生活を送るうえで必要とされる幅広い場面におけるコミュニケーション能力を向上させる。

概要：インタビューや、一定のテーマについて説明する話を聞き、日本語の表現、会話のコミュニケーションスタイルを学習する。

学修成果

会話内でのエピソードを交えた話、一定の長さの説明を聞いて理解することができるようになる。相手の話に応じて質問などの反応をすることでよりスムーズなコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション 自己紹介、説明の聞き取り（日本語学習者の事例）

第2回 説明の聞き取り(日本の音楽を仕事にする日本語学習者)
会話表現(面接会場でのやり取り)

第3回 説明の聞き取り（住まいについて）
会話表現(面接場面での受け答え)

第4回 説明の聞き取り（健康について）
会話表現（友達に頼む・頼まれる）

第5回 説明の聞き取り(教育)
会話表現（先生に頼む・頼まれる）

第6回 説明の聞き取り(心理)
会話表現（友達に誘う・誘われる）

第7回 説明の聞き取り（ラーメン）
会話表現(先生に誘う・誘われる）

第8回 説明の聞き取り（著作権）
会話表現(予約をする）

第9回 インタビューの聞き取り(趣味と仕事)
会話表現(予約の変更をお願いする）

第10回 インタビューの聞き取り(職家の仕事)
会話表現(お詫びする）

第11回 インタビューの聞き取り(パレリーナの生活)
会話表現（質問を投げかける）

第12回 インタビューの聞き取り（代々木の紹介）
インタビュー準備1（テーマについて自分なりのエピソードを考える）

第13回 インタビューの聞き取り(上野の紹介)
インタビュー準備2（テーマに関する質問を考える）

第14回 雑談の聞き取り
インタビュー会話の実践1

第15回 インタビュー会話の実践2（相手を換えてもう一度）
振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅰ

曜日・時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	
演習	1～	前期	0							

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関して意見や感想を表現する。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「要約の練習 」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅰ

曜日時限 担当教員
水 3時限 小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。
概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関して意見や感想を表現する。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第2回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第3回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第4回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第5回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第6回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第7回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第8回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第9回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第10回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第11回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第12回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第13回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第14回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第15回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅰ

前期

曜日・時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関してクラス内で相互に意見交換をする。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅰ

後期

曜日時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	
演習	1～	後期	1							100

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関してクラス内で相互に意見交換をする。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅰ

前期

曜日・時限

担当教員

水 3時限

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関して意見や感想を表現する。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第2回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第3回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第4回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第5回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第6回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第7回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第8回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第9回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第10回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第11回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第12回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第13回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第14回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「要約の練習 」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第15回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅰ

後期

曜日・時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、文章の内容及び、その背景となる社会文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、文法や語彙の表現を学ぶ。文章の内容や、背景となる社会文化に関して意見や感想を表現する。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「要約の練習」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級前半を内容とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

授業内で使う教材はオンラインで提示する予定です。オンライン上のテキストを読んだり書いたりできるように準備してください。
各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名ークラス名

日本語日本文化Ⅲ

曜日時限
金 1時限

担当教員
小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	0	50	0	0	50	

教育到達目標と概要

目標：学習者用ではない、素材をもとに、その内容を説明したり、内容について感想や意見を表現したりすることができる。
概要：学習者用ではない映像、書籍を理解し、その内容を詳しく説明したり、その後の展開を予測して説明したりする。

学修成果

学習者用ではない、生の日本語の映像を見て、映像の展開を説明したり、内容について話したりすることができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回	映像を見て、説明内容を聞き取る
第3回	ストーリーの場面と、その時に起こったことを説明する
第4回	ストーリーの展開と、その背景を説明する
第5回	映像の展開を予想する、展開を見ていない人にもわかるように説明する
第6回	映像のストーリーと、その文化背景を説明する
第7回	音声のない映像の概要を説明する
第8回	映像をストーリーとして説明する
第9回	映像に会話をつける
第10回	ストーリー、会話の発表
第11回	絵本の文体に触れる
第12回	絵本に説明をつける
第13回	会話を伴った絵本の文章を作る
第14回	絵本の文章の発表
第15回	振り返り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半から上級を内容とした授業です。
自分で考えて日本語で長く話したり、書いたりすることが必要になります。学生同士の意見交換の時間があります。
小テストには授業中の発表も含まれます。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名ークラス名

日本語日本文化Ⅲ

曜日時限
金 1時限

担当教員
小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	0	50	0	0	50	

教育到達目標と概要

目標：学習者用ではない、素材をもとに、その内容を説明したり、内容について感想や意見を表現したりすることができる。
概要：学習者用ではない映像、書籍を理解し、その内容を詳しく説明したり、その後の展開を予測して説明したりする。

学修成果

学習者用ではない、生の日本語の映像を見て、映像の展開を説明したり、内容について話したりすることができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回	映像を見て、説明内容を聞き取る
第3回	ストーリーの場面と、その時に起こったことを説明する
第4回	ストーリーの展開と、その背景を説明する
第5回	映像の展開を予想する、展開を見ていない人にもわかるように説明する
第6回	映像のストーリーと、その文化背景を説明する
第7回	音声のない映像の概要を説明する
第8回	映像をストーリーとして説明する
第9回	映像に会話をつける
第10回	ストーリー、会話の発表
第11回	絵本の文体に触れる
第12回	絵本に説明をつける
第13回	会話を伴った絵本の文章を作る
第14回	絵本の文章の発表
第15回	振り返り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

中級後半から上級を内容とした授業です。
自分で考えて日本語で長く話したり、書いたりすることが必要になります。学生同士の意見交換の時間があります。
小テストには授業中の発表も含まれます。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅲ

前期

曜日・時間

金 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	前期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：学習者用ではない、素材をもとに、その内容を説明したり、内容について感想や意見を表現したりすることができる。

概要：学習者用ではない映像、書籍を理解し、その内容を詳しく説明したり、その後の展開を予測して説明したりする。

学修成果

学習者用ではない、生の日本語の映像を見て、映像の展開を説明したり、内容について話したりすることができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 映像を見て、説明内容を聞き取る

第3回 ストーリーの場面と、その時に起こったことを説明する

第4回 ストーリーの展開と、その背景を説明する

第5回 映像の展開を予想する、展開を見ていない人にもわかるように説明する

第6回 映像のストーリーと、その文化背景を説明する

第7回 音声のない映像の概要を説明する

第8回 映像をストーリーとして説明する

第9回 映像に会話をつける

第10回 ストーリー、会話の発表

第11回 絵本の文体に触れる

第12回 絵本に説明をつける

第13回 会話を伴った絵本の文章を作る

第14回 絵本の文章の発表

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半から上級を内容とした授業です。

自分で考えて日本語で長く話したり、書いたりすることが必要になります。学生同士の意見交換の時間があります。

小テストには授業中の発表も含まれます。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅲ

後期

曜日時限

金 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	後期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：学習者用ではない、素材をもとに、その内容を説明したり、内容について感想や意見を表現したりすることができる。

概要：学習者用ではない映像、書籍を理解し、その内容を詳しく説明したり、その後の展開を予測して説明したりする。

学修成果

学習者用ではない、生の日本語の映像を見て、映像の展開を説明したり、内容について話したりすることができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 映像を見て、説明内容を聞き取る

第3回 ストーリーの場面と、その時に起こったことを説明する

第4回 ストーリーの展開と、その背景を説明する

第5回 映像の展開を予想する、展開を見ていない人にもわかるように説明する

第6回 映像のストーリーと、その文化背景を説明する

第7回 音声のない映像の概要を説明する

第8回 映像をストーリーとして説明する

第9回 映像に会話をつける

第10回 ストーリー、会話の発表

第11回 絵本の文体に触れる

第12回 絵本に説明をつける

第13回 会話を伴った絵本の文章を作る

第14回 絵本の文章の発表

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半から上級を内容とした授業です。

自分で考えて日本語で長く話したり、書いたりすることが必要になります。学生同士の意見交換の時間があります。

小テストには授業中の発表も含まれます。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）

授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅲ

前期

曜日・時間

金 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	1～	前期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：学習者用ではない、素材をもとに、その内容を説明したり、内容について感想や意見を表現したりすることができる。

概要：学習者用ではない映像、書籍を理解し、その内容を詳しく説明したり、その後の展開を予測して説明したりする。

学修成果

学習者用ではない、生の日本語の映像を見て、映像の展開を説明したり、内容について話したりすることができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 映像を見て、説明内容を聞き取る

第3回 ストーリーの場面と、その時に起こったことを説明する

第4回 ストーリーの展開と、その背景を説明する

第5回 映像の展開を予想する、展開を見ていない人にもわかるように説明する

第6回 映像のストーリーと、その文化背景を説明する

第7回 音声のない映像の概要を説明する

第8回 映像をストーリーとして説明する

第9回 映像に会話をつける

第10回 ストーリー、会話の発表

第11回 絵本の文体に触れる

第12回 絵本に説明をつける

第13回 会話を伴った絵本の文章を作る

第14回 絵本の文章の発表

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半から上級を内容とした授業です。

自分で考えて日本語で長く話したり、書いたりすることが必要になります。学生同士の意見交換の時間があります。

小テストには授業中の発表も含まれます。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化Ⅲ

後期

曜日・時間

金 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：学習者用ではない、素材をもとに、その内容を説明したり、内容について感想や意見を表現したりすることができる。

概要：学習者用ではない映像、書籍を理解し、その内容を詳しく説明したり、その後の展開を予測して説明したりする。

学修成果

学習者用ではない、生の日本語の映像を見て、映像の展開を説明したり、内容について話したりすることができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 映像を見て、説明内容を聞き取る

第3回 ストーリーの場面と、その時に起こったことを説明する

第4回 ストーリーの展開と、その背景を説明する

第5回 映像の展開を予想する、展開を見ていない人にもわかるように説明する

第6回 映像のストーリーと、その文化背景を説明する

第7回 音声のない映像の概要を説明する

第8回 映像をストーリーとして説明する

第9回 映像に会話をつける

第10回 ストーリー、会話の発表

第11回 絵本の文体に触れる

第12回 絵本に説明をつける

第13回 会話を伴った絵本の文章を作る

第14回 絵本の文章の発表

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

中級後半から上級を内容とした授業です。

自分で考えて日本語で長く話したり、書いたりすることが必要になります。学生同士の意見交換の時間があります。

小テストには授業中の発表も含まれます。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で必要となる語彙、表現リストの確認（週30分程度）
授業で扱った表現の復習課題（週60分程度）

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

日本語日本文化研究Ⅰ

曜日時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、内容及び、その背景となる社会や文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、語彙、文法、構成などの文章表現を学ぶ。文章の内容と背景となる社会文化に関して相互に意見交換をすることで更に理解を深める。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

日本語日本文化研究Ⅰ

曜日時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、内容及び、その背景となる社会や文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、語彙、文法、構成などの文章表現を学ぶ。文章の内容と背景となる社会文化に関して相互に意見交換をすることで更に理解を深める。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

上級日本語 II

前期

曜日時限

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数
演習	2～	前期	1

評価方法	定期試験				その他の試験	合計
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
評価割合	0	60	0	0	40	100

教育到達目標と概要

目標：大学生として必要とされる文章作成、プレゼンテーションの能力を身につける。

概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

大学の授業で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く（意見の根拠としてデータを示す）

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。

学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

上級日本語 II	後期
----------	----

曜日時限	担当教員
木 1時限	小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	0	60	0	0	40	

教育到達目標と概要

目標：大学生として必要とされる文章作成、プレゼンテーションの能力を身につける。
概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

大学の授業で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション
第2回	ショートスピーチと質問
第3回	意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)
第4回	意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)
第5回	意見文を書く（意見の根拠としてデータを示す）
第6回	言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)
第7回	言葉の定義発表(相互に紹介)
第8回	発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)
第9回	発表準備 パワーポイント作成
第10回	発表準備 話をする練習
第11回	発表(発表に対する質問) 1
第12回	発表(発表に対する質問) 2、相互コメント
第13回	発表の文章化
第14回	レポート返却(レポートのポイントチェック)
第15回	振り返り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

上級者を対象とした授業です。
学生同士の意見交換の時間があります。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

作文、プレゼンテーションのための資料検索（週30分程度）

授業で終わらなかった作文、プレゼンテーション資料の作成（週60分程度）

■ 教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

キャリアと日本語

曜日時限
火 2時限

担当教員
小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	0	50	0	0	50	

教育到達目標と概要

目標：課程修了後のキャリアについて自分なりに考え、計画を立てられるようになる。

概要：日本の就労観、就職、インターンシップといったキャリアに関する社会事情を学修し、自身のキャリアプランを考える。
一般的な就職活動、職場でのコミュニケーションを想定した日本語の表現を学修する。

学修成果

日本での就業に関する知識を身に付け、そこに見られる就労観を理解することができる。
就職活動に関する一般的な知識と、その際に必要な日本語の表現を理解することができる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	日本の仕事事情
第3回	日本の就職活動事情
第4回	一般的な就職活動の手順(就職支援室から説明)
第5回	留学生の就職活動事情(公的機関より就職支援講師)
第6回	日本の就職活動のシミュレーション
第7回	日本の就業事情
第8回	日本での就業の事例
第9回	ビジネスコミュニケーションの基本知識
第10回	ビジネスコミュニケーションの事例紹介
第11回	ビジネスコミュニケーションのシミュレーション
第12回	インターンシップ制度
第13回	インターンシップの事例(インターンシップ経験者の話)
第14回	自分の価値観と職場の価値観
第15回	まとめ
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

大学2年生以上、短大2年生で中級後半以上のレベルの学生を対象とした授業です。
自分の考えを話したり、書いたりすることがあります。
就職支援室、インターンシップ経験者など、講義担当者以外の参加については変更の可能性があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った表現の学修を課題にします。(家庭内学習30分程度)
授業で扱った内容について話し合い、自分の考えを書くことを求めます。(授業内で終わらなかった内容の家庭学習15分程度)

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

キャリアと日本語

B

曜日時限

火 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	前期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課程修了後のキャリアについて自分なりに考え、計画を立てられるようになる。

概要：日本の就労観、就職、インターンシップといったキャリアに関する社会事情を学修し、自身のキャリアプランを考える。

一般的な就職活動、職場でのコミュニケーションを想定した日本語の表現を学修する。

学修成果

日本での就業に関する知識を身に付け、そこに見られる就労観を理解することができる。

就職活動に関する一般的な知識と、その際に必要な日本語の表現を理解することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション、自己紹介

第2回 日本の仕事事情

第3回 日本の就職活動事情

第4回 一般的な就職活動の手順(就職支援室から説明)

第5回 留学生の就職活動事情(公的機関より就職支援講師)

第6回 日本の就職活動のシミュレーション

第7回 日本の就業事情

第8回 日本での就業の事例

第9回 ビジネスコミュニケーションの基本知識

第10回 ビジネスコミュニケーションの事例紹介

第11回 ビジネスコミュニケーションのシミュレーション

第12回 インターンシップ制度

第13回 インターンシップの事例(インターンシップ経験者の話)

第14回 自分の価値観と職場の価値観

第15回 まとめ

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

大学2年生以上、短大2年生で中級後半以上のレベルの学生を対象とした授業です。
自分の考えを話したり、書いたりすることがあります。
就職支援室、インターンシップ経験者など、講義担当者以外の参加については変更の可能性があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った表現の学修を課題にします。(家庭内学習30分程度)
授業で扱った内容について話し合い、自分の考えを書くことを求めます。(授業内で終わらなかった内容の家庭学習15分程度)

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

キャリアと日本語

A

曜日時限

火 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	後期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課程修了後のキャリアについて自分なりに考え、計画を立てられるようになる。

概要：日本の就労観、就職、インターンシップといったキャリアに関する社会事情を学修し、自身のキャリアプランを考える。

一般的な就職活動、職場でのコミュニケーションを想定した日本語の表現を学修する。

学修成果

日本での就業に関する知識を身に付け、そこに見られる就労観を理解することができる。

就職活動に関する一般的な知識と、その際に必要な日本語の表現を理解することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション、自己紹介

第2回 日本の仕事事情

第3回 日本の就職活動事情

第4回 一般的な就職活動の手順(就職支援室から説明)

第5回 留学生の就職活動事情(公的機関より就職支援講師)

第6回 日本の就職活動のシミュレーション

第7回 日本の就業事情

第8回 日本での就業の事例

第9回 ビジネスコミュニケーションの基本知識

第10回 ビジネスコミュニケーションの事例紹介

第11回 ビジネスコミュニケーションのシミュレーション

第12回 インターンシップ制度

第13回 インターンシップの事例(インターンシップ経験者の話)

第14回 自分の価値観と職場の価値観

第15回 まとめ

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

大学2年生以上、短大2年生で中級後半以上のレベルの学生を対象とした授業です。
自分の考えを話したり、書いたりすることがあります。
就職支援室、インターンシップ経験者など、講義担当者以外の参加については変更の可能性があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った表現の学修を課題にします。(家庭内学習30分程度)
授業で扱った内容について話し合い、自分の考えを書くことを求めます。(授業内で終わらなかった内容の家庭学習15分程度)

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

キャリアと日本語

A

曜日時限

火 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	前期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課程修了後のキャリアについて自分なりに考え、計画を立てられるようになる。

概要：日本の就労観、就職、インターンシップといったキャリアに関する社会事情を学修し、自身のキャリアプランを考える。

一般的な就職活動、職場でのコミュニケーションを想定した日本語の表現を学修する。

学修成果

日本での就業に関する知識を身に付け、日本の一般的な就労観を理解することができる。

就職活動に関する一般的な知識と、その際に必要な日本語の表現を理解することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション、自己紹介

第2回 日本の仕事事情

第3回 日本の就職活動事情

第4回 一般的な就職活動の手順(就職支援室から説明)

第5回 留学生の就職活動事情(公的機関より就職支援講師)

第6回 日本の就職活動のシミュレーション

第7回 日本の就業事情

第8回 日本での就業の事例

第9回 ビジネスコミュニケーションの基本知識

第10回 ビジネスコミュニケーションの事例紹介

第11回 ビジネスコミュニケーションのシミュレーション

第12回 インターンシップ制度

第13回 インターンシップの事例(インターンシップ経験者の話)

第14回 自分の価値観と職場の価値観

第15回 まとめ

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

大学2年生以上、短大2年生で中級後半以上のレベルの学生を対象とした授業です。
自分の考えを話したり、書いたりすることがあります。
就職支援室、インターンシップ経験者など、講義担当者以外の参加については変更の可能性があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った表現の学修を課題にします。(家庭内学習30分程度)
授業で扱った内容について話し合い、自分の考えを書くことを求めます。(授業内で終わらなかった内容の家庭学習15分程度)

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

キャリアと日本語

B

曜日時限

火 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	後期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課程修了後のキャリアについて自分なりに考え、計画を立てられるようになる。

概要：日本の就労観、就職、インターンシップといったキャリアに関する社会事情を学修し、自身のキャリアプランを考える。
一般的な就職活動、職場でのコミュニケーションを想定した日本語の表現を学修する。

学修成果

日本での就業に関する知識を身に付け、日本の一般的な就労観を理解することができる。
就職活動に関する一般的な知識と、その際に必要な日本語の表現を理解することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション、自己紹介

第2回 日本の仕事事情

第3回 日本の就職活動事情

第4回 一般的な就職活動の手順(就職支援室から説明)

第5回 留学生の就職活動事情(公的機関より就職支援講師)

第6回 日本の就職活動のシミュレーション

第7回 日本の就業事情

第8回 日本での就業の事例

第9回 ビジネスコミュニケーションの基本知識

第10回 ビジネスコミュニケーションの事例紹介

第11回 ビジネスコミュニケーションのシミュレーション

第12回 インターンシップ制度

第13回 インターンシップの事例(インターンシップ経験者の話)

第14回 自分の価値観と職場の価値観

第15回 まとめ

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

大学2年生以上、短大2年生で中級後半以上のレベルの学生を対象とした授業です。
自分の考えを話したり、書いたりすることがあります。
就職支援室、インターンシップ経験者など、講義担当者以外の参加については変更の可能性があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った表現の学修を課題にします。(家庭内学習30分程度)
授業で扱った内容について話し合い、自分の考えを書くことを求めます。(授業内で終わらなかった内容の家庭学習15分程度)

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

中級日本語演習

前期

曜日時限

火 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	3～	前期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課程修了後のキャリアについて自分なりに考え、計画を立てられるようになる。

概要：日本の就労観、就職、インターンシップといったキャリアに関する社会事情を学修し、自身のキャリアプランを考える。

一般的な就職活動、職場でのコミュニケーションを想定した日本語の表現を学修する。

学修成果

日本での就業に関する知識を身に付け、そこに見られる就労観を理解することができる。

就職活動に関する一般的な知識と、その際に必要な日本語の表現を理解することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション、自己紹介

第2回 日本の仕事事情

第3回 日本の就職活動事情

第4回 一般的な就職活動の手順(就職支援室から説明)

第5回 留学生の就職活動事情(公的機関より就職支援講師)

第6回 日本の就職活動のシミュレーション

第7回 日本の就業事情

第8回 日本での就業の事例

第9回 ビジネスコミュニケーションの基本知識

第10回 ビジネスコミュニケーションの事例紹介

第11回 ビジネスコミュニケーションのシミュレーション

第12回 インターンシップ制度

第13回 インターンシップの事例(インターンシップ経験者の話)

第14回 自分の価値観と職場の価値観

第15回 まとめ

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

大学2年生以上、短大2年生で中級後半以上のレベルの学生を対象とした授業です。
自分の考えを話したり、書いたりすることがあります。
就職支援室、インターンシップ経験者など、講義担当者以外の参加については変更の可能性があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った表現の学修を課題にします。(家庭内学習30分程度)
授業で扱った内容について話し合い、自分の考えを書くことを求めます。(授業内で終わらなかった内容の家庭学習15分程度)

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

中級日本語演習

後期

曜日時限

火 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	3～	後期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課程修了後のキャリアについて自分なりに考え、計画を立てられるようになる。

概要：日本の就労観、就職、インターンシップといったキャリアに関する社会事情を学修し、自身のキャリアプランを考える。

一般的な就職活動、職場でのコミュニケーションを想定した日本語の表現を学修する。

学修成果

日本での就業に関する知識を身に付け、そこに見られる就労観を理解することができる。

就職活動に関する一般的な知識と、その際に必要な日本語の表現を理解することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション、自己紹介

第2回 日本の仕事事情

第3回 日本の就職活動事情

第4回 一般的な就職活動の手順(就職支援室から説明)

第5回 留学生の就職活動事情(公的機関より就職支援講師)

第6回 日本の就職活動のシミュレーション

第7回 日本の就業事情

第8回 日本での就業の事例

第9回 ビジネスコミュニケーションの基本知識

第10回 ビジネスコミュニケーションの事例紹介

第11回 ビジネスコミュニケーションのシミュレーション

第12回 インターンシップ制度

第13回 インターンシップの事例(インターンシップ経験者の話)

第14回 自分の価値観と職場の価値観

第15回 まとめ

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

大学2年生以上、短大2年生で中級後半以上のレベルの学生を対象とした授業です。
自分の考えを話したり、書いたりすることがあります。
就職支援室、インターンシップ経験者など、講義担当者以外の参加については変更の可能性があります。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った表現の学修を課題にします。(家庭内学習30分程度)
授業で扱った内容について話し合い、自分の考えを書くことを求めます。(授業内で終わらなかった内容の家庭学習15分程度)

教科書・参考書

各々の目標に合わせて資料を配付したり、購入すべきテキストを助言します。

科目名－クラス名

実践中級日本語研究Ⅰ

曜日時限	担当教員
火 1時限	小笠 恵美子
金 2時限	
水 1時限	

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	前期	3	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な日本語文法を理解し、日常的なコミュニケーションが支障なくできるようになる。

概要：平易な文法の確認をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの技能を使って日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

平易な文法と日常使われる語彙で書かれた日本語を理解し、自分自身のことについても簡単な文章で伝えられる。

外国人と話すことに慣れていない人としても日常的なコミュニケーションをスムーズにとれるようになる。

授業展開と内容

第1回	①オリエンテーション 自分について話す ②読解(人のコミュニケーションについて)
第2回	①興味を持っていることについて話す、質問する(テキスト トピック1) ②意見の表現(人のコミュニケーションについて) ③料理の説明（語彙、表現、聞き取り）
第3回	①お勤めの料理について話す、レストランなどの店の情報を聞いて、値段や料理の種類がわかる(テキスト トピック2) ②読解、意見の表現(留学先について) ③料理の説明（話す、書く）
第4回	①故郷の特徴的な料理について説明する(テキスト トピック2) ・小テスト ②読解、意見の表現(外国で生活することについて) ③衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）
第5回	①音楽のジャンル、特徴について、聞いたり話したりする(テキスト トピック3) ②読解、意見の表現(仕事について) ③衣服、買い物について（話す、書く）
第6回	①好きな音楽について、その魅力や好きになった経緯を話したり、聞いたりする(テキスト トピック3) ②読解、意見の表現(経済について) ③価値観（語彙、表現、聞き取り）
第7回	①コンサートについて書かれた文章を読む(テキスト トピック3) ②読解、意見の表現(環境問題について) ③価値観（話す、書く）
第8回	①お勤めのコンサート情報、音楽サイトを伝える(テキスト トピック3) 旅行地の案内を聞き、その特徴を理解する(テキスト トピック4) ・小テスト ②読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて) ③家を探す（語彙、表現、聞き取り）
第9回	①旅行先での会話(希望を伝える)(テキスト トピック4) ②読解、意見の表現(健康について) ③家を探す（話す、書く）
第10回	①旅行の経験について話す、質問する(テキスト トピック4) ②読解、意見の表現(福祉について) ③体調（語彙、表現、聞き取り）
第11回	①近況報告(短い文章で書く)(テキスト トピック5) ②読解、意見の表現(教育と学習方法について) ③体調（話す、書く）
第12回	①近況報告(会話)（テキスト トピック5) ・小テスト ②読解、意見の表現(情報との付き合い方について) ③キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

- 第13回 ①漫画について話す(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(新しい技術について)
③キャラクター（話す、書く）

- 第14回 ①ストーリーを説明する(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(科学について)
③季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

- 第15回 ①便利な道具について説明する(テキスト トピック7)
②振り返り
③季節の言葉（話す、書く）

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名ークラス名

実践中級日本語研究Ⅰ

曜日時限

水 2時限

木 2時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	後期	3	評価割合	30	40	0	0	30	100

教育到達目標と概要

目標：平易な日本語文法を理解し、日常的なコミュニケーションが支障なくできるようになる。

概要：平易な文法の確認をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの技能を使って日常的なコミュニケーション表現を学修する。

学修成果

平易な文法と日常使われる語彙で書かれた日本語を理解し、自分自身のことについても簡単な文章で伝えられる。

外国人と話すことに慣れていない人とも日常的なコミュニケーションをスムーズにとれるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ①オリエンテーション 自分について話す
②読解(人のコミュニケーションについて)

- 第2回 ①興味を持っていることについて話す、質問する(テキスト トピック1)
②意見の表現(人のコミュニケーションについて)
③料理の説明（語彙、表現、聞き取り）

- 第3回 ①お勧めの料理について話す、レストランなどの店の情報を聞いて、値段や料理の種類がわかる(テキスト トピック2)
②読解、意見の表現(留学先について)
③料理の説明（話す、書く）

- 第4回 ①故郷の特徴的な料理について説明する(テキスト トピック2)
・小テスト
②読解、意見の表現(外国で生活することについて)
③衣服、買い物について（語彙、表現、聞き取り）

- 第5回 ①音楽のジャンル、特徴について、聞いたり話したりする(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(仕事について)
③衣服、買い物について（話す、書く）

- 第6回 ①好きな音楽について、その魅力や好きになった経緯を話したり、聞いたりする(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(経済について)
③価値観（語彙、表現、聞き取り）

- 第7回 ①コンサートについて書かれた文章を読む(テキスト トピック3)
②読解、意見の表現(環境問題について)
③価値観（話す、書く）

- 第8回 ①お勧めのコンサート情報、音楽サイトを伝える(テキスト トピック3)
旅行地の案内を聞き、その特徴を理解する(テキスト トピック4)
・小テスト
②読解、意見の表現(状況とコミュニケーションについて)
③家を探す（語彙、表現、聞き取り）

- 第9回 ①旅行先での会話(希望を伝える)(テキスト トピック4)
②読解、意見の表現(健康について)
③家を探す（話す、書く）

- 第10回 ①旅行の経験について話す、質問する(テキスト トピック4)
②読解、意見の表現(福祉について)
③体調（語彙、表現、聞き取り）

- 第11回 ①近況報告(短い文章で書く)(テキスト トピック5)
②読解、意見の表現(教育と学習方法について)
③体調（話す、書く）

- 第12回 ①近況報告(会話)（テキスト トピック5)
・小テスト
②読解、意見の表現(情報との付き合い方について)
③キャラクター（語彙、表現、聞き取り）

- 第13回 ①漫画について話す(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(新しい技術について)
③キャラクター（話す、書く）

- 第14回 ①ストーリーを説明する(テキスト トピック6)
②読解、意見の表現(科学について)
③季節の言葉（語彙、表現、聞き取り）

- 第15回 ①便利な道具について説明する(テキスト トピック7)
②振り返り
③季節の言葉（話す、書く）

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名ークラス名

実践中級日本語研究Ⅱ

曜日時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、内容及び、その背景となる社会や文化を理解する。
概要：様々な種類の文章を読み、語彙、文法、構成などの文章表現を学ぶ。文章の内容と背景となる社会文化に関して相互に意見交換をすることで更に理解を深める。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第2回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第3回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第4回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第5回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第6回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第7回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第8回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第9回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第10回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第11回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第12回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第13回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り 小テスト
第14回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習 」」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第15回	文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」） 読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	

第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実践中級日本語研究Ⅱ

曜日時限

水 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	30	40	0	0	30	

教育到達目標と概要

目標：様々な種類の文章を読み、内容及び、その背景となる社会や文化を理解する。

概要：様々な種類の文章を読み、語彙、文法、構成などの文章表現を学ぶ。文章の内容と背景となる社会文化に関して相互に意見交換をすることで更に理解を深める。

学修成果

使われている表現を通して、文章のジャンルを推測することができる。文章の内容と共に、ジャンルを通して社会、文化について考察することができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション・文章を読み、内容について日本語で話す（トピック1「異文化理解（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第2回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック2「住まい（物語）」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第3回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック3「昔話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第4回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック4「国を超えた交流」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第5回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック5「野生動物と人間」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第6回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック6「人間の社会生活と動物」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第7回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック7「旅行による異文化体験」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第8回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック8「名曲の話」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第9回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック9「産業と家屋」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第10回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック10「バイクの魅力」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第11回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック11「あなたにとってスマホとは何か」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第12回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック12「ウェブのニュースと紙のニュース」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第13回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック13「要約の練習 随筆文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り
小テスト

第14回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック14「「要約の練習」」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第15回 文章を読み、内容について日本語で話す（トピック15「要約の練習 解説文」）
読解と関連のある内容の動画を見て聞き取り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実践中級日本語研究Ⅳ

曜日時限	担当教員
火 1時限	小笠 恵美子
金 2時限	
水 1時限	

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				評価割合	40	40	0	0	20	

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。

コミュニケーションにおいて、まとまりのある話の主要な点を理解し、自分からも、情報発信としてまとまりのある話ができる。

インターネットの情報記事の主要点を理解し、自分からもSNSやメールなどで、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をする。

聞く・話す・読む・書くの4技能を用いて、自らの情報発信を伴った日常的なコミュニケーションを学修する。

学修成果

日本語による日常的な会話を楽しめるようになる。日常生活で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて) 【トピック1：人物紹介】トピックの準備 聞く：その場にいない人についての話を聞く
第2回	意見の表現(人のコミュニケーションについて) ,説明の聞き取り(日本の特有のもの) 【トピック1：人物紹介】話す：共通の知り合いについてコメントする"
第3回	"読解、意見の表現(情報と教育について)、説明の聞き取り(製品の説明) 【トピック1：人物紹介】読む：人物のインタビュー記事を読む 書く：友達を紹介するメールを書く
第4回	"読解、意見の表現(仕事について) 、説明の聞き取り(サービスについての説明) 【トピック2：旅行】トピックの準備 聞く：旅行の経験談を聞く
第5回	読解、意見の表現(個性と人生について)、説明の聞き取り(特定のサービスの説明) 【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する
第6回	"読解、意見の表現(教育について)、説明の聞き取り(特定の場所についての説明) 【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む 書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く
第7回	読解、意見の表現(経済について)、説明の聞き取り(言葉の意味の説明) 【トピック3：健康的な生活】トピックの準備 聞く：健康のための運動の話を聞く
第8回	読解、意見の表現(新しい技術について)、説明の聞き取り(調査内容の説明) 【トピック3：健康的な生活】話す：健康法について話す"
第9回	読解、意見の表現(コミュニケーションについて)、説明の聞き取り(新技術の説明) 【トピック3：健康的な生活】読む：インターネットの掲示板を読む 書く：健康法を紹介する記事を書く
第10回	読解、意見の表現(人生について説明する)、説明の聞き取り(数字の変化を示す説明) 【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備 聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く"
第11回	読解、意見の表現(福祉と仕事について)、説明の聞き取り(調査結果を聞く) 【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する
第12回	読解、意見の表現(教育と学習方法について)、依頼に反応する表現、説明の聞き取り(伝統文化の説明) 【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む 書く：自分が関わるイベントのチラシを作る
第13回	読解、意見の表現(情報との付き合い方について)、言い訳をする表現、説明の聞き取り(伝統技術の説明) 【トピック5：身近なニュース】トピックの準備 聞く：身近なテーマのニュースを聞く"
第14回	読解、意見の表現(科学について)、説明の聞き取り(人の紹介) 【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する
第15回	振り返り、感想を述べる表現 【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む ふりかえり
第16回	
第17回	

第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実践中級日本語研究Ⅳ

曜日時限	担当教員
水 2時限	小笠 恵美子
木 2時限	

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	前期	3	評価割合	40	40	0	0	20	100

教育到達目標と概要

目標：中級レベルの日本語文法能力とコミュニケーション能力を身に着ける。

コミュニケーションにおいて、まとまりのある話の主要な点を理解し、自分からも、情報発信としてまとまりのある話ができる。

インターネットの情報記事の主要点を理解し、自分からもSNSやメールなどで、まとまりのある文章が書ける。

概要：中級レベルの文法の確認をする。

聞く・話す・読む・書くの4技能を用いて、自らの情報発信を伴った日常的なコミュニケーションを学修する。

学修成果

日本語による日常的な会話が楽しめるようになる。日常生活で起こりうるたいていの事態に対処することができる。

日本語で、B1レベルの読み・書き・話す・書くコミュニケーションができるようになる。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション 読解(人のコミュニケーションについて) 【トピック1：人物紹介】トピックの準備 聞く：その場にいない人についての話を聞く
第2回	意見の表現(人のコミュニケーションについて)、説明の聞き取り(日本の特有のもの) 【トピック1：人物紹介】話す：共通の知り合いについてコメントする"
第3回	"読解、意見の表現(情報と教育について)、説明の聞き取り(製品の説明) 【トピック1：人物紹介】読む：人物のインタビュー記事を読む 書く：友達を紹介するメールを書く
第4回	"読解、意見の表現(仕事について)、説明の聞き取り(サービスについての説明) 【トピック2：旅行】トピックの準備 聞く：旅行の経験談を聞く
第5回	読解、意見の表現(個性と人生について)、説明の聞き取り(特定のサービスの説明) 【トピック2：旅行】話す：友人と旅行の計画を調整する
第6回	"読解、意見の表現(教育について)、説明の聞き取り(特定の場所についての説明) 【トピック2：旅行】読む：ガイドブックを読む 書く：自国のおすすめスポットの紹介を書く
第7回	読解、意見の表現(経済について)、説明の聞き取り(言葉の意味の説明) 【トピック3：健康的な生活】トピックの準備 聞く：健康のための運動の話を聞く
第8回	読解、意見の表現(新しい技術について)、説明の聞き取り(調査内容の説明) 【トピック3：健康的な生活】話す：健康法について話す"
第9回	読解、意見の表現(コミュニケーションについて)、説明の聞き取り(新技術の説明) 【トピック3：健康的な生活】読む：インターネットの掲示板を読む 書く：健康法を紹介する記事を書く
第10回	読解、意見の表現(人生について説明する)、説明の聞き取り(数字の変化を示す説明) 【トピック4：舞台を見るなら】トピックの準備 聞く：舞台芸術をみた経験談を聞く"
第11回	読解、意見の表現(福祉と仕事について)、説明の聞き取り(調査結果を聞く) 【トピック4：舞台を見るなら】話す：演目やチケットの予約方法などくわしい情報を提供する
第12回	読解、意見の表現(教育と学習方法について)、依頼に反応する表現、説明の聞き取り(伝統文化の説明) 【トピック4：舞台を見るなら】読む：芸能についての長い文章を読む 書く：自分が関わるイベントのチラシを作る
第13回	読解、意見の表現(情報との付き合い方について)、言い訳をする表現、説明の聞き取り(伝統技術の説明) 【トピック5：身近なニュース】トピックの準備 聞く：身近なテーマのニュースを聞く"
第14回	読解、意見の表現(科学について)、説明の聞き取り(人の紹介) 【トピック5：身近なニュース】話す：ニュースについて状況や原因を詳しく説明する
第15回	振り返り、感想を述べる表現 【トピック5：身近なニュース】読む：ニュース記事を読む ふりかえり
第16回	
第17回	
第18回	

第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実践上級日本語研究Ⅱ

曜日時限

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	前期	1	評価割合	0	60	0	0	40	100

教育到達目標と概要

目標：大学院生として必要とされる文章作成、プレゼンテーションの能力を身につける。

概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

研究発表の場面で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く(意見の根拠としてデータを示す)

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実践上級日本語研究Ⅱ

曜日・時間

木 1時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	後期	1	評価割合	0	60	0	0	40	100

教育到達目標と概要

目標：大学院生として必要とされる文章作成、プレゼンテーションの能力を身につける。

概要：パワーポイントを使ったプレゼンテーション及び目的に合わせた文章作成と相互評価を行う。

学修成果

研究発表の場面で必要とされる形式で発表ができるようになる。人の発表を聞き、コメントを述べるができるようになる。一定のテーマに沿った文章を、段落構成を考えて書くことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 ショートスピーチと質問

第3回 意見文を書く準備をする(文章構造、段落に気を付けて書く)

第4回 意見文を書く(文章構造、段落に気を付けて書く)

第5回 意見文を書く(意見の根拠としてデータを示す)

第6回 言葉の定義をする(自分なりの定義,資料を調べて書く)

第7回 言葉の定義発表(相互に紹介)

第8回 発表準備(音楽の解説の事例を読む、聞く)

第9回 発表準備 パワーポイント作成

第10回 発表準備 話をする練習

第11回 発表(発表に対する質問) 1

第12回 発表(発表に対する質問) 2、相互コメント

第13回 発表の文章化

第14回 レポート返却(レポートのポイントチェック)

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実践上級日本語研究Ⅲ

曜日・時間

火 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	後期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課題研究、課程終了後のキャリアを見据えて自分なりの学修目標を立て、計画を立てられるようになる。

概要：必要とされる日本語に合わせた学修計画を立て、その遂行課程の省察と計画の見直しをする。

学修成果

自身の目標に合わせた日本語力の強化、学修計画と計画の練り直しをする力をつける。課題研究とプレゼンテーションに必要な日本語の表現を使うことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 課題研究のテーマ説明/目標と学修計画

第3回 課題研究の章立ての説明/学修計画の遂行と日常サイクルの確認

第4回 課題研究の参考文献の説明/日本語学習と専門の研究とのバランスの見直し

第5回 参考文献の内容説明/小テスト①

第6回 参考文献リストの形式確認/小テスト①の結果をもとに学修計画の見直し

第7回 引用の表現/学修計画の実現にかかる時間の省察

第8回 過去の文献に見られる引用の表現の比較/学修計画の実現性の確認

第9回 引用と自分の意見の表現の区別/小テスト②

第10回 課題研究の進捗状況発表/小テスト②に基づく計画の見直し

第11回 課題研究の内容・章立て発表/今までの教材の評価

第12回 学習者間、相互の課題研究に関する内容説明と質問

第13回 効果的な接続表現の確認

第14回 ビジネス文章、エントリーシートの表現確認

第15回 振り返り

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

科目名－クラス名

実践上級日本語研究Ⅲ

曜日・時間

火 3時限

担当教員

小笠 恵美子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	2～	前期	1	評価割合	0	50	0	0	50	100

教育到達目標と概要

目標：課題研究、課程終了後のキャリアを見据えて自分なりの学修目標を立て、計画を立てられるようになる。

概要：必要とされる日本語に合わせた学修計画を立て、その遂行課程の省察と計画の見直しをする。

学修成果

自身の目標に合わせた日本語力の強化、学修計画と計画の練り直しをする力をつける。課題研究とプレゼンテーションに必要な日本語の表現を使うことができる。

授業展開と内容

第1回 オリエンテーション

第2回 課題研究のテーマ説明/目標と学修計画

第3回 課題研究の章立ての説明/学修計画の遂行と日常サイクルの確認

第4回 課題研究の参考文献の説明/日本語学習と専門の研究とのバランスの見直し

第5回 参考文献の内容説明/小テスト①

第6回 参考文献リストの形式確認/小テスト①の結果をもとに学修計画の見直し

第7回 引用の表現/学修計画の実現にかかる時間の省察

第8回 過去の文献に見られる引用の表現の比較/学修計画の実現性の確認

第9回 引用と自分の意見の表現の区別/小テスト②

第10回 課題研究の進捗状況発表/小テスト②に基づく計画の見直し

第11回 課題研究の内容・章立て発表/今までの教材の評価

第12回 学習者間、相互の課題研究に関する内容説明と質問

第13回 効果的な接続表現の確認

第14回 ビジネス文章、エントリーシートの表現確認

第15回 振り返り

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第21回

第22回

第23回

第24回

第25回

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

履修上の注意

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

教科書・参考書

2022 年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：3021 教員名：小笠 恵美子

1) 評価結果に対する所見

「音楽の授業で先生が話す内容が理解できるようになってきた」という評価があり、生活の中で留学生が日本語の理解できるようになっていく様子が読み取れた。また、「実用日本語Ⅰ」に対する評価には、「テキストが日常の語彙を中心とした内容であることがよい」といったことが書かれており、このテキストを使う意義が理解されていると感じている。

2) 要望への対応・改善方策

明確な要望は出されていないが、日本語文法とコミュニケーションⅡについては「授業はシラバス通りである」に対する評価が低かった。前期後期で異なる教員が行っている影響かと思うが、今まで以上にシラバスに沿った授業内容になるように心掛けたい。

3) 今後の課題

すべての教科において、出席に関する評価が低かった。全体的に人数の少ない授業で、欠席、遅刻者がいると、グループワークなどで大きな影響が出る。継続的に遅刻、欠席をしないで参加している学生の理解に合わせて授業をしていきたいと思っているが、その結果、理解度の差が開いていくという点が悩ましい。

「遅刻、欠席をしたくない」と思わせるような授業内容にしていきたい。

以 上